



No.849 2022年
9月9日

国鉄労働組合東日本本部
港区新橋5-15-5 交通ビル7F
発行責任者 伊藤 隆夫
編集責任者 常盤 達雄

つなげよう次世代へ
届けよう私たちの思い
仲間が声を待っている

国労東日本 第36回定期大会開催!

**信頼関係から国労加入が
次々と報告される!**

国労東日本本部は、8月20日に第36回定期大会を東京・新橋交通ビルにおいて開催しました。

新型コロナウイルス第7波の感染拡大のなか、東京地本の代議員は本会場に、他の代議員はWebで各地方会場から参加というハイブリッド開催となりました。また、今大会は、次世代へ繋ぐ大会でもあり、JR世代の代議員の発言が目立った大会となりました。

(今号は、大会特集号「その1」として報告します)



大会は渡辺副委員長の開会挨拶で始まり、議長に深谷代議員(東京・大宮)、副議長には竹村代議員(東京・神奈川)が選出され議事に入りました。会場には東京選出の代議員・地方代表、職協代表が来場し、他は各地方本部会場からWeb参加しました。

開会にあたり、伊藤委員長が3点にわたって挨拶をし(別掲参照)、国労本部・岩本書記長からの挨拶を受け、議事に入りました。

議事は極力時間を縮小した内容で行われ、中村副委員長(財政部長)の財政提案、塩澤監査員からの監査報告も水戸会場からのWeb報告となりました。

経過2人、方針12人の発言では、コロナ禍にお



議長 大宮・深谷代議員
副議長 神奈川・竹村代議員

最後の執行部を代表し、伊藤委員長の団結がんばろうで大会を終了しました。

選出され議事に入りました。議長に事前郵送し、本会場で開票する形式で行われ、それぞれ確立しました。

スト権投票・規約改正・選挙規則の制定等は各代議員に事前郵送し、本会場で開票する形式で行われ、それぞれ確立しました。

**国鉄世代・JR世代の団結で
一歩踏み出そう!**



委員長挨拶 要旨
(全文はHPに掲載)

まず、課題の1点目は、平和と民主主義を守る取り組みの強化についてです。ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、加えて台湾情勢をめぐる緊張の高まりの中で77年目の原爆の日を迎えました。広島平和宣言で松井市長は、「国民の生命を守る為政者が、国民を戦争の道具として使い、市民の命や日常を奪っています。そして、世界中で、核兵器による抑止なくして平和は維持できないという考えが勢いを増しています」と警鐘を鳴らしました。

国労は結成以来、「戦争に反対し、アジアと世界の完全な平和」を綱領に掲げてきました。引き続き、「即時停戦と紛争の平和的解決を求め」ことを内外に訴えた2・28国労声明に基づき「平和の文化」を育むために全力を挙げましょう。

2点目は、JRの「安全・安定」輸送確立、労働条件・労働環境整備に向けた取り組みについてです。

JR各社は固定費の削減、収入構造の变革に向けスピードアップを図っています。JR東日本では、職場・システムを超えた「融合と連携」「柔軟な働き方」と称して、複数の駅・乗務員区等を1つの職場とした社員運用をはじめとして、本社・支社・現業機関の体制の見直しなど会社発足以降、最大の組織改革を進めています。一方では、この間の各種施策に職場が追い付いていない実態や、管理職サイドも混乱し十分な説明もされていない状況

況も報告されています。今後も容赦なく、ワンマン運転の拡大やドライバレス運転の実現に向けた技術開発、技術革新による保守体制の見直し等、AIやIoT技術を活用した施策を導入しながら、生産性を一層高めてくることは明らかです。

現在、地方交渉となっている「支社再編と柔軟な働き方」、今後本格化する社員運用や働き方の変化、「安全とサービスの観点から施策実施後の職場の状況を検証していかねばなりません」。

3点目は、組織の強化・拡大についてです。

先の定期全国大会で、「国労の課題と方向性」、いわゆる5年ビジョンの中間総括も示され、意思統一が図られました。昨年の大会以降〇名の拡大を図っていたが、とりわけ、7月から8月にかけて連続して国労加入者を迎えられることができました。共通しているのは、この間、加入した仲間との職場での継続した繋がりが実を結んだということです。

今職場では組合に加入している社員が圧倒的に少なく、組合加入者は奇異な目で見られるかもしれません。しかし、会社発足依頼の最大の組織改革が推し進められる中であって、効率化・合理化は人を選びません。社員の不平・不満は高まっているものの本音で「声」に出すことが出来ない思いを引き出し、私たちの活動に結び付け、それぞれの持ち場から国労への信頼と結集を勝ち取りましょう。

「微力だけど無力じゃない」、この言葉は核廃絶を願う国連に署名を届け続ける高校生平和大使ののスローガンです。私自身、このスローガンに元気をもらってききました。少数となった国労ですが、「微力だけど無力」ではありません。置かれた現状、取り巻く情勢は厳しさを増していますが、国鉄世代、JR世代が団結し、一歩を踏み出せる大会としていただくことをお願いし、挨拶とします。

第15回組織拡大標語

最優秀表彰

つなげよう次世代へ
届けよう私たちの思い
仲間が声を待っている

盛岡 / 菊池 要悦

さあ今だ 厳しい時こそ仲間を信じ
声を掛け合い組織拡大

東京 / 中澤 和夫

優秀表彰

小さな力を結集し
大きな力で 新たな展開

長野 / 樋口 博一

機関紙表彰

Table with columns: 紙名, 号数, 地本, 発行機関. Rows include 蘇我運輸区分会ニュース, 国労秋総, 国鉄新潟.

- List of names: 大橋 崇彦, 本間 寿, 本間 誠, 古城 政明, 早川 義貴, 小林 一幸, 嶋田 福実, 田崎 紀克, 諏訪 哲也, 藤井 明人, 猿渡 楓, 伊藤 稔, 宮崎 和孝, 川田 琢治, 及川 孝.

定数15名

東日本本部委員

ありがとうございました

【国労本部】岩元 孝信 書記長 【東日本本部】海渡雄一 弁護士
【顧問弁護士】福田 護 弁護士

関東交運労協 全国交運共済 国鉄労働会館 アベニール株式会社
東日本事業本部

国労北海道本部 国労東海本部 国労西日本本部
国労四国本部 国労九州本部

JR東日本労働組合

JESS-U

Advertisement for cancer insurance with a chicken mascot. Text: 'これから医療の進歩を見据え、生きるためのがん保険を新しくします。' Includes logo for Affac and insurance details.



神奈川総合法律事務所 山岡弁護士

交流会前半の学習では 山岡弁護士に「労働組合の役割と必要性」について講演をいただきました。

交流会後半では職場交流を行い、参加者から「パワハラがひどい。すべてメモしている」...

「国労東日本本部は、8月10日に神奈川労働プラザにおいて「JESS社員交流会」を開催しました。

一人勤務への不満も多数

貸金・昇給への不満が次々と出される！

JESS社員 学習交流会開催 8/10

交流会アンケートから

【改善してほしいこと】

- 手当 ●等級制度 ●定期昇給のアップ
●コロナ感染の補償 ●購入券制度
●旅行に使える補助 ●休憩施設や女性施設
●風呂・寝室・事務所など設備の老朽化
●人を増やしてほしい（有休がとれない）
●一人勤務を何とかしてほしい
●災害時の対策 ●パワハラ・セクハラ事案

最後に武田書記長から「国労東日本として賃金アンケートを行った。特に昇給への不満が大きい。JR東日本社員より、JESS社員のほうが多く不満を書いてくれた。今日出された報告からはこうした不満の大きさを実感した。講演にもあったが、社員・組合員の声を聞く大切さを重く受け止め、取り組みをこれから続けていく」と、JESS社員学習交流会



SSIU・池田委員長からは「講演で改めて労働組合の重要性を再認識させられた。職場から多くの問題点が出されたが、これからの交渉に生かしていきたい」などのまとめがあり、交流会は終了しました。